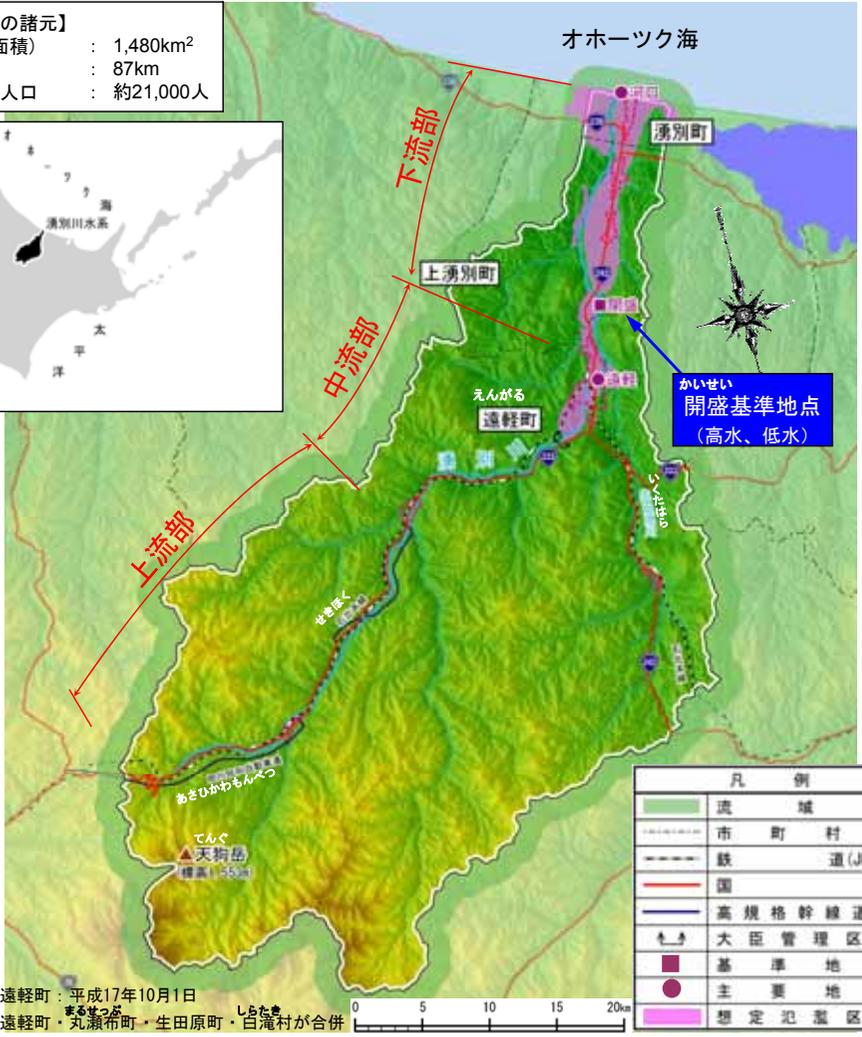


流域及び河川の概要

- 流域形状は南北に長く標高差も大きい。河床勾配は上流部で1/100以上、人口・資産の集中する中流部で約1/250程度、下流部でも1/300～1/800程度の急流河川
- 産業は道内産木材を使用したピアノの響板、タマネギ、ホタテ、牡蠣等を生産
- オホーツク海気候で、流域の年間降水量は約800mm程度で全国で最も少ない地域

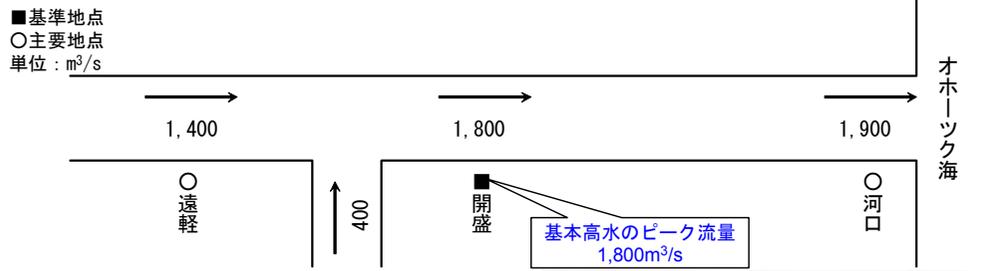
【流域及び氾濫域の諸元】
 ・流域面積(集水面積) : 1,480km²
 ・幹川流路延長 : 87km
 ・想定氾濫区域内人口 : 約21,000人



災害の発生防止又は軽減

- 工事実施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、雨量データによる確率からの検討、既往洪水からの検討、1/100確率規模モデル降雨波形による検討等を総合的に検討し、河川整備基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を開盛地点で1,800m³/sと設定

【流量配分図】



- 基本高水のピーク流量の全量を河道で負担
- 堤防の新設・拡築及び河道の掘削により流下能力の向上を図るとともに、水衝部の護岸等を整備



河川環境の整備と保全

- 上流部はハナカジカやオショロコマ、エゾイワナ等が生息し、溪流釣りに多くの人が訪れていることから、その自然環境や瀬・淵の連続する環境の保全に努める
- 中流部はサケ、サクラマス、カラフトマス等が遡上し、これらの増殖に関して重要な位置を占めている。連続した魚類の遡上環境や生息環境、産卵床の保全に努める
- 下流部はオジロワシ、クマガラ等の繁殖環境、オオワシ等の越冬環境となっている水辺とその周辺の河畔林、河口付近の緩やかな流れ、砂丘植生などの保全に努める



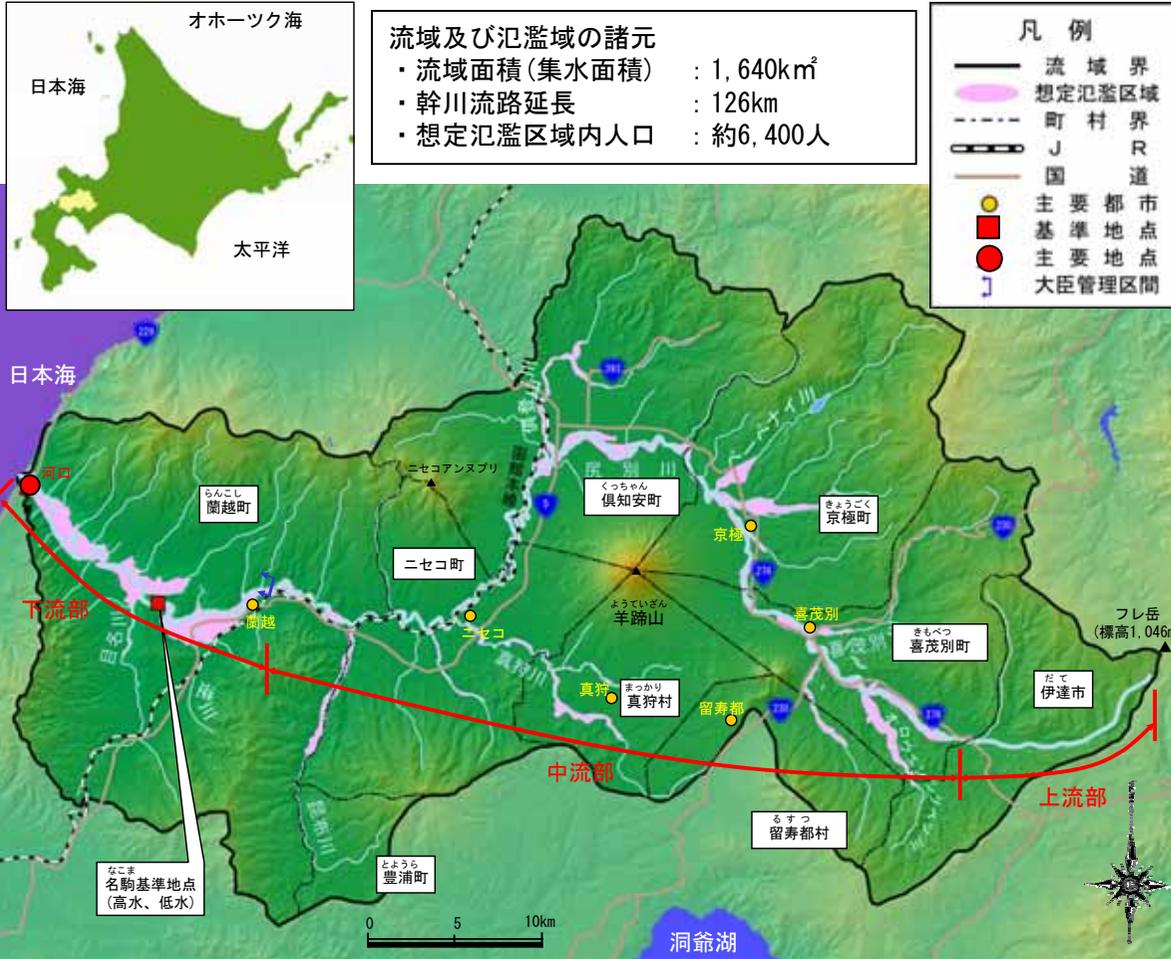
河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
- 開盛地点における流水の正常な機能を維持するための流量は、年間を通じて概6m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利利用、河川環境の保全等に資するものとする

尻別川水系河川整備基本方針(案)の概要

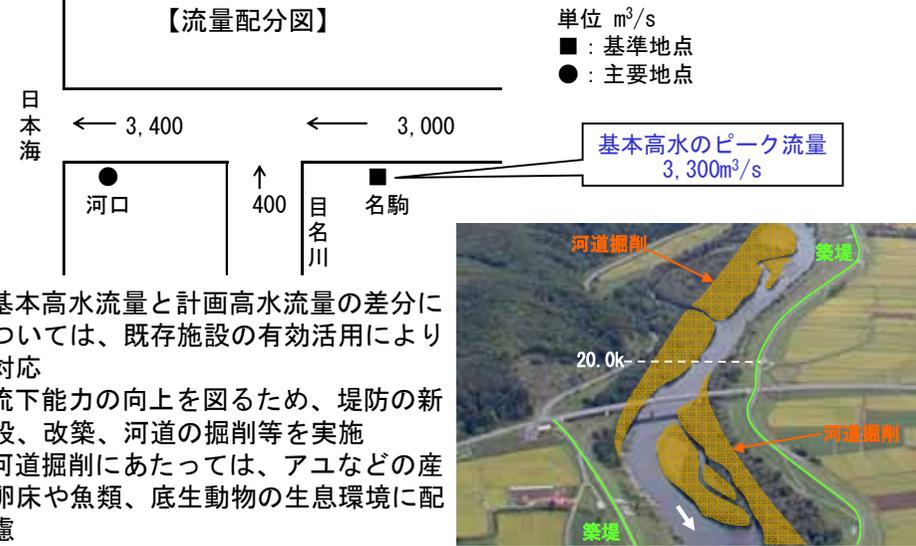
流域及び河川の概要

- 上流部は山間部の急勾配区間。中流部では畑作地帯を流れた後、ニセコ山麓の狭窄部を流下。下流部では勾配が緩やかとなり水田地帯を蛇行しながら流下。
- 流域は馬鈴薯や良質で名高い「らんこし米」などの農業地帯として発展。近年はカヌーやラフティング、釣りなど、豊かな自然と優れた景観を利用した観光産業が盛ん
- 水質が良好で平成11～14年、16～18年に水質ランキング1位



災害の発生の防止又は軽減

- 工事実施基本計画策定後に計画を変更するような大きな出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、既往洪水からの検討等を総合的に検討し、河川整備基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を基準地点名駒で3,300m³/sと設定



河川環境の整備と保全

- 尻別川を特徴づける自然環境である羊蹄山等を背景とした優れた河川環境の保全、アユ、カワヤツメ、サケ、サクラマス、イトウ、カワシジギイをはじめとする魚介類の生息・繁殖環境の保全に努める。
- 関係機関や地域住民等と一体となって、自然とのふれあい、カヌー、高水敷を利用したパークゴルフ等の河川利用や環境学習の場等、多くの人々が川に親しめる空間となるよう努める。
- 平成11～14年、16～18年に水質ランキング日本一となっており、引き続き、関係機関との連携・調整、地域住民との連携を図りながら、良好な水質の保全に努める。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量を確保する。
- 名駒地点における流水の正常な機能を維持するための流量は、年間を通じて概ね21m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする。



アユ



羊蹄山とカヌー



尻別川せせらぎまつり

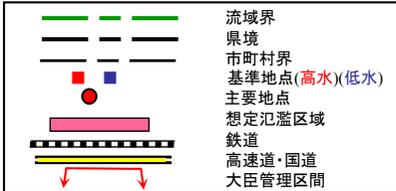
小瀬川水系河川整備基本方針（案）の概要

流域及び氾濫域の概要

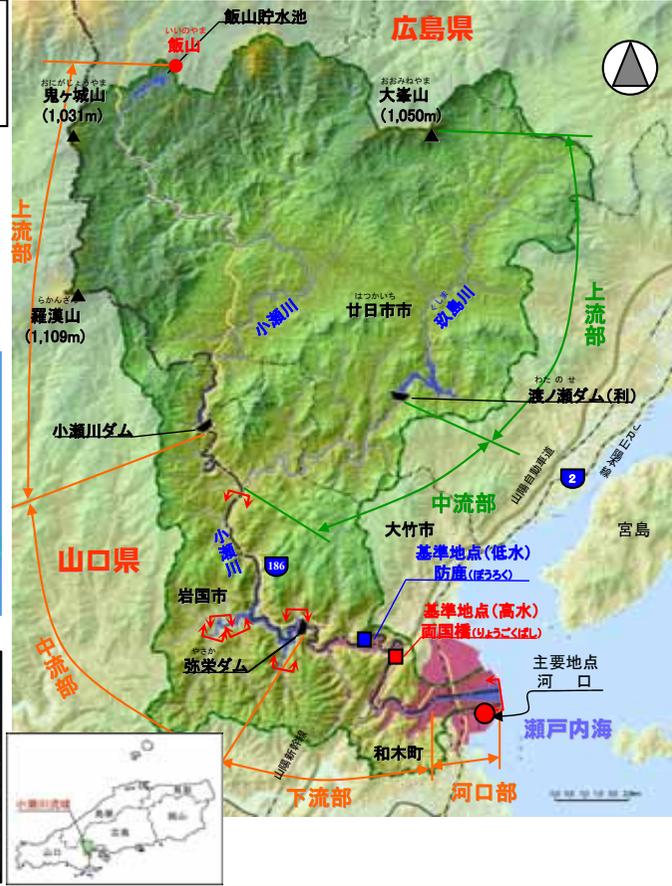
- 流域の約96%を山地等が占め、流域内の人口・資産のほとんどが埋立・干拓地である河口部に集積。河口部は「大竹・岩国石油化学コンビナート」が発展し、瀬戸内海工業地帯の一部を形成
- 広島藩と長州藩の「国分けの川」として国境紛争の舞台であったほか、戦後の高度成長期に広島県と山口県の間で水利権を巡り対立し、昭和33年に建設大臣裁定により使用水量配分が決定した歴史

【流域及び氾濫域の諸元】

流域面積(集水面積)：340km²
 幹川流路延長：59km
 想定氾濫区域内人口：約2万5千人



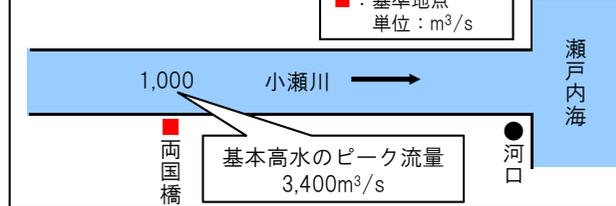
【小瀬川河口部の干拓・埋立の歴史】



災害の発生防止又は軽減

- 工事実施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、雨量データによる確率からの検討、既往洪水による検討、1/100確率規模モデル降雨波形による検討等を総合的に検討し、河川整備基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を基準地点両国橋で3,400m³/sと設定

【流量配分図】

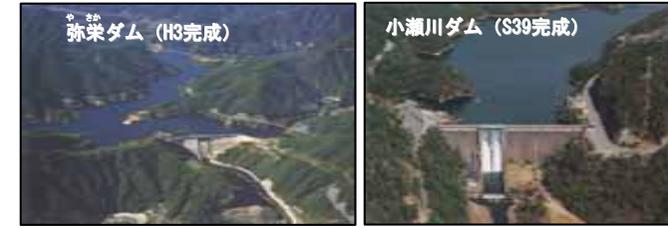


- 基本高水のピーク流量と計画高水流量の差分については、既設の洪水調節施設により対応
- 小瀬川の豊かな自然環境に配慮しながら、堤防の新設や質的強化、河道掘削、護岸整備等を実施
- 老朽化した堤防の改築や、耐震対策等に合わせ、高さや断面が不足している箇所の高潮堤防の整備を実施

【基準地点両国橋付近の引堤】



【既存の洪水調節施設】



河川環境の整備と保全

- 小瀬川と流域の人々との歴史的・文化的なつながりを踏まえ、人々にうるおいとやすらぎを感じさせる、豊かな自然と緑が織りなす良好な河川景観、清らかな水の流れの保全を図る
- アユの産卵場となっている早瀬やオヤニラミが好む水際植生、キシツツジ等が生育・繁殖する河岸の露岩地、ゴクラクハゼ等が生息する河口干潟等、動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全に努める
- 弥栄湖をはじめ、水辺や河川敷がイベント、レクリエーション等、地域住民の憩いの場として利用されていることも踏まえ、河川に関する情報を地域住民と幅広く共有し、住民参加による河川清掃、河川愛護活動を推進するとともに、防災学習、河川の利用に関する安全教育、環境教育等の充実を図る

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
- 防鹿地点における流水の正常な機能の維持するための必要な流量は、通年で概ね7m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする

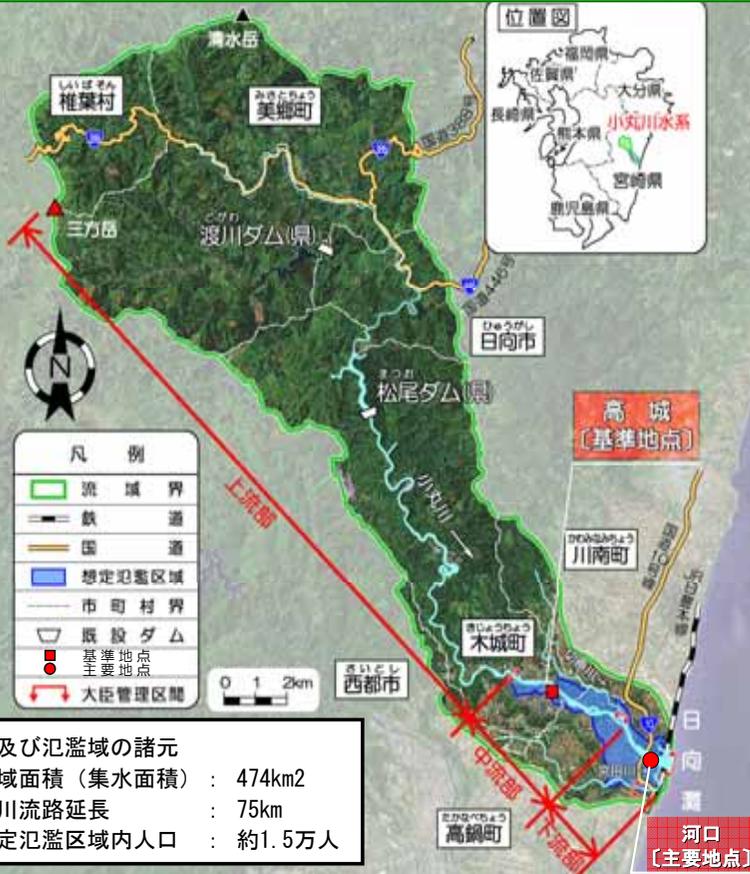


良好な河川景観(蛇喰磧) 露岩地に自生するキシツツジ 干潮時に出現する河口干潟 子どもたちの水遊び

小丸川水系河川整備基本方針(案)の概要

流域及び河川の概要

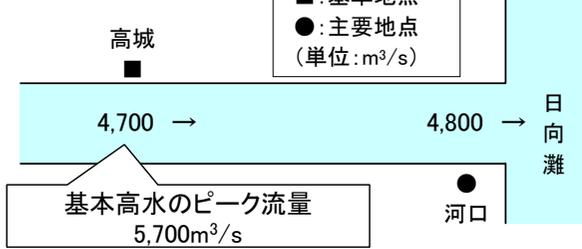
- 流域の大半を急峻な山地が占め、中流部から上流部の河床勾配は約1/600~1/100であり、九州地方有数の急流河川
- 中流部から下流で築堤区間となっており、急流部を一気に流下した洪水がひとたび氾濫すると甚大な被害が発生
- 上流部の急峻な山地は崩壊しやすい四万十層群で構成されており、土砂供給が多い



災害の発生の防止又は軽減

- 工事实施基本計画策定以降、既定計画の基本高水のピーク流量を超過する洪水が頻発。このため、既定計画を見直すこととし、全国バランス等を考慮しつつ、流域内の人口・資産等を踏まえ、計画規模を1/100とする。
- 流量データによる確率からの検討、雨量データによる確率からの検討、既往洪水による検討、1/100確率規模モデル降雨波形による検討等を総合的に検討して、基本高水のピーク流量を基準地点高城で5,700m³/sと設定

【流量配分図】



高城地点の洪水の流れ



- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、既設洪水調節施設の有効活用で対応
- 河床の安定や既設構造物への影響等を勘案し、河道掘削により流下能力を確保
- 洪水時の流速や河道状況等についてモニタリングしながら、適切な河川整備・維持管理を実施
- 山腹崩壊、流木の発生、ダム堆砂の進行、濁水の長期化、海岸汀線の後退など土砂移動と密接に関わる課題に対処するため、上流から海岸までの総合的な土砂管理の観点から、粒度分布と量も含めた土砂移動の定量的な把握に努める。

松尾ダム



渡川ダム



河川環境の整備と保全

- 下流部では、ハマボウ、コアマモ、アカメ等が生息・生育・繁殖する入り江やワンド等の保全に努める
- 中流部では、貴重な湿生植物が自生する河道内の湿地やアユの産卵場等に利用される瀬や淵、コアジサシの営巣地等に利用される砂礫河原の保全に努める
- 上流部では、良好な溪流環境等の保全に努める



河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 既存施設の有効活用を図るとともに、今後とも関係機関と連携して水利用の合理化を推進するなど、必要な流量の確保に努める
- 高城地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、通年概ね2.0m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする